

わおん

第66号
2022年11月発行
秋号

〒370-0016
群馬県高崎市矢島町449-2
駒井病院 地域連携室

TEL 027(352)6100
FAX 027(352)6217

「わおん」とは、いくつもの違う音が重なり、ひとつの美しい音を作る“和音”。
連携もこうありたいとの願いです。

特集 認知症への取り組み～DCTを中心としたチームケア～

駒井病院では、主に認知症ケアチームが主体となって診療・看護・リハビリ等を行っています。お一人おひとりの患者様に対しチームでケアを行うことで、認知機能の低下した方でも安心して入院生活を送ることができます。今回は当院での認知症への取り組みの経過をご紹介します。



2016年の診療報酬改定では、認知症による行動・心理症状(以下、BPSD)や意思疎通の困難さが見られ、身体疾患の治療や影響が見込まれる患者様に対し、病棟の看護師等や専門的知識を有した職員が適切に対応する事で認知症症状の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に受けられることを目的とし、認知症ケア加算が新設されました。さらに、2018年の診療報酬改定では、認知症ケア加算が2段階から3段階へ見直され、点数も引き上げられた改訂となりました。

当院では、2018年4月より認知症ケア加算2の算定をしておりましたが、さらなる認知症ケアの充実のため、2020年5月より認知症ケア加算1を算定し、医師・認知症看護認定看護師・社会福祉士・病棟看護師・薬剤師・管理栄養士・言語聴覚士の12名で構成される認知症ケアチーム(Dementia Care Team 以下、DCTと略す)を発足し、今年で2年経過致しました。

認知症ケア加算1の加算対象は、入院時のスクリーニングで認知症高齢者日常生活自立度3以上に該当し、認知症の診断がある方、ない方でも認知機能低下が日常生活に影響している方は加算対象になります。



【DCTの役割】

1. 身体疾患を合併して入院してきた認知症(認知機能低下)の方への病棟における対応力と認知症ケアの質の向上に繋げること。
2. せん妄やBPSDの予防及び、初期介入を適切に行い、認知症の人のQOLの低下を防ぐとともに、ご本人・ご家族の心理的・身体的苦痛を軽減する支援。
3. 他職種の視点で認知症の人の状態を把握・評価し、認知症症状の悪化を防ぐこと、及び、身体疾患の治療が円滑に受けられるようにすること。

【DCTの主な活動内容】

1. 認知症の症状に対する環境調整、ケアの提案

病棟カンファレンス・ラウンドを毎週水曜日の午後に行っています。カンファレンス内で、多職種との協議の上、BPSDの要因や患者様のニーズを探り、患者様のできる事へのケアを一緒に考えています。また、不安や混乱を防ぐ環境調整や私たちの声掛けや接し方等を大事にし、関わりを持つようにしています。患者様の状態に合わせて、非薬物療法を実施し、効果が乏しい場合には、薬物投与も視野に入れて検討しています。

2. 身体抑制をしないケアの取り組み

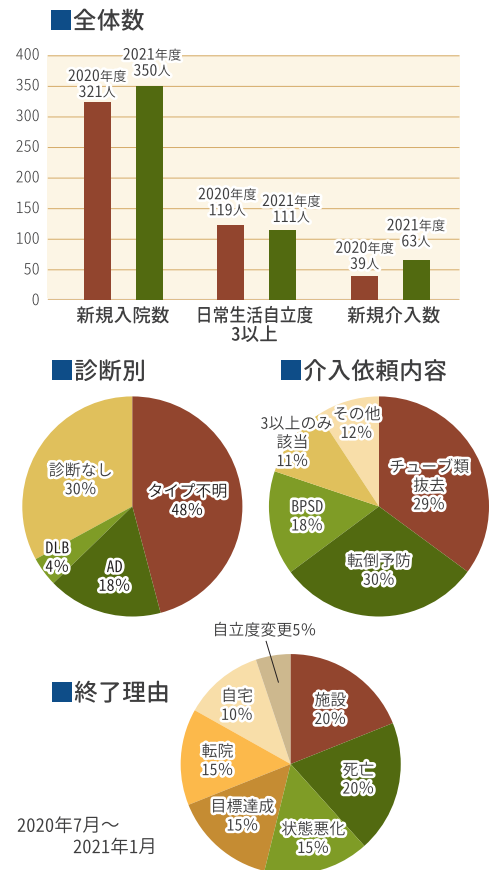
当院では、患者様の尊厳を守り、原則、身体抑制を行わない方針を掲げております。治療上必要な点滴や栄養管理に必要なルートは、見えないように固定方法を工夫し、また、職員の見守りの下で安全に投与するようにしています。

当院は100床(療養病棟71床・地域包括病床29床)のうち、2020年度と2021年度のDCT介入割合を比較すると、2020年度は新規入院数に対し、対象となる認知症高齢者日常生活自立度3以上に該当する方は約4割。そのうち約3割がDCT介入したのに対し、2021年には、新規入院数、対象割合は2020年度とさほど変わらないものの、介入数が約6割と増加しました。

せん妄・BPSDの予防・対応、転倒リスクが高い、チューブ抜去の恐れがある、薬剤管理(調整)が必要、食事量低下などの治療・ケアに課題がある場合などDCT介入の必要性がある場合は、看護計画を立案し、DCTへ介入依頼が来ます。



カンファレンスやラウンドを行い、チームで情報共有を行っています



事例

90歳 男性 (うっ血性心不全・認知症)

うっ血性心不全後の廃用症候群にて当院入院。ADLは自立～一部介助。HDS-R7点 MMSE13点。声掛けには簡単な会話は可能。車いすより立ち上がり頻回で、転倒リスクが高い為、DCT介入依頼あり。

声をかけてみると「トイレ行きたい」と訴えがあった為、トイレ誘導をしてみると排尿が見られた。この事をきっかけに、動作から尿意をキャッチする事とトイレ誘導の支援を始めた。数日後には独歩でトイレを探している姿も見られ、自力で排泄できるまでに至った。

認知症の方の訴えの表出が難しくなる中で、その方のニーズや意思を尊重したケアを行うことは、その方の認知機能を補う事につながると、改めて感じた事例となりました。

当院のDCTは、まだまだ日が浅いチームですので、日々、試行錯誤しながら、認知症ケアに取り組んでおります。今後も認知症患者様の視点に立ったケアが行えるよう、支援していきたいと思っております。



医療安全管理室 室長 深澤 智子 (認知症看護認定看護師)

特集：認知症への取り組み～DCTを中心としたチームケア～

患者様に寄り添い、 従来の透析治療の枠に囚われない柔軟な対応を

急速に高齢化が進み、2025年には3人に1人が65歳以上の高齢者になると予測される中、透析患者様においても高齢化が進み、認知症状を有する患者様の占める割合も増加傾向にあり認知症透析患者様への対応は、どこの透析施設でもスタッフにとって避けられない大きな問題となっています。

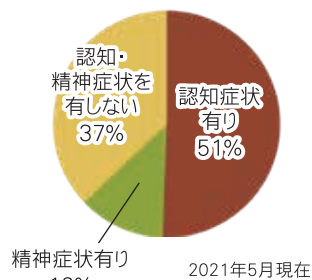
認知症の症状には個人差や、日によって違うためスタッフも対応に苦慮します。内服等で落ち着いて治療を受けられる時と、突然、大声をあげコンソールを叩く、蹴るなどの行為や、力づくで透析針を抜こうとする行為があり治療を中断することがあります。

しかし、このような場合であっても安易に抑制に頼らず、「無理なことはしない。出来ることをやる」という方針で関わりを持つように、まずは、透析室に来られるか、穿刺ができる状況かを判断し、無理であれば透析の時間帯や透析日を変更します。透析中の多少の暴言暴力には、患者様に寄り添い話を聞き、安心感を与えられるようなケアを心掛けています。

認知症状を持つ患者様にとって透析治療に費やす時間は、とても長く辛くて苦痛しかない時間だと思えます。だからこそ、透析を何とか無事に終了し、非透析日には自分らしく過ごせるようにと、従来の透析治療の枠に囚われず柔軟に対応し患者様が自分らしく過ごす時間が持てることをスタッフ一同願っています。

透析センター 師長 岡部 洋子(看護師)

当院における認知症状および精神症状を有する患者様の割合



駒井病院 診療受付時間・担当医師一覧表

一般外来

休診日…土日祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
内科	9:00～12:30 (受付12:00まで)	平松 檜原	中野	駒井 中野	佐野(敏)	檜原
整形外科	14:00～17:00	—	佐野(潔)	—	—	—

特殊外来<ご予約制> ☎ 027-329-7755(受付直通)

休診日…土日祝祭日・年末年始(12月30日～1月3日)

診療科	診療時間	月	火	水	木	金
腎不全外来	15:00～17:30 (受付17:00まで) ※要予約	平松	平松	—	—	—
不眠症外来		—	駒井	—	駒井	—
精神科外来		—	駒井	—	駒井	—
物忘れ外来		—	駒井	檜原	駒井	檜原

透析センター

診療科	開始時間	月	火	水	木	金	土
外来透析	午前の部 9:00～	○	○	○	○	○	○
	午後の部 14:30～15:00	○	休	○	休	○	休

令和4年6月より、救急告示認定病院となりました

地域連携室からのお知らせ

2021年度 苦情要望のご報告

ご入院中の患者様やご家族様等よりお寄せいただいたご意見・ご要望を、院内に設置の意見箱にて回収しています。

■料理について	1件
■現場の対応	7件
■感染対策	1件
■事務関係	1件
■設備	2件
合計	12件

<ご意見の一例>

- ・トイレをきれいにしてほしい
- ・PCR検査してほしい
- ・印鑑押印を省略してほしい

回収したご意見については、苦情要望対応会議で検討させていただき、回答の掲示を行っています。まだまだ課題が抽出しきれていない部分がありますので、その時代に合った方法で意見を聴取してまいりたいと思います。

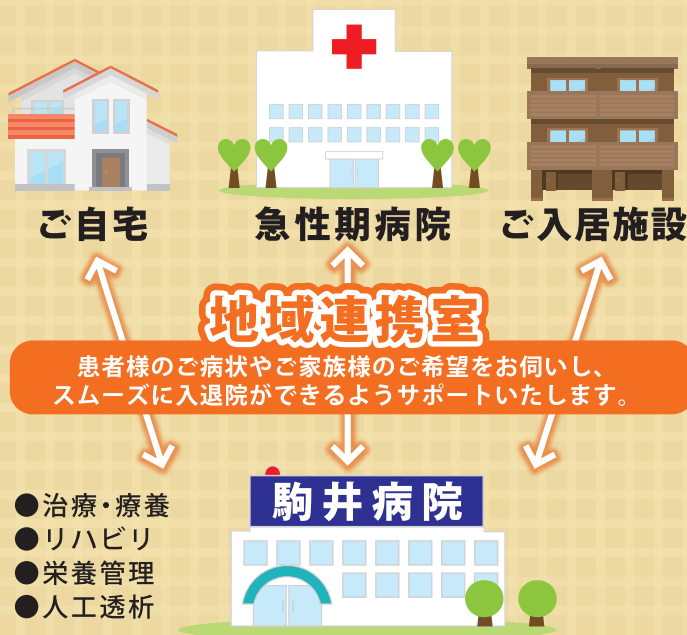
2021年度 相談支援に関する件数

地域連携室の業務の一つに相談支援があげられます。患者様やご家族様から電話や、直接面談を通して様々な相談に対応しております。こちらから今後についての相談や本人の意思をお伝えすることもあり、相談の内容は多岐に渡ります。2021年度の相談件数を、相談内容別にまとめてご報告させていただきます。

2021年度 相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
社会福祉相談(経済的問題)	3	1	4	0	2	2	2	1	31	1	0	3	20
社会福祉相談(福祉制度について)	1	5	8	2	1	2	1	5	2	0	1	3	31
退院相談(家屋調査、面談)	19	23	24	25	11	15	14	18	21	16	12	34	232
苦情相談	1	2	2	2	2	0	0	2	1	1	1	0	14
看護相談(退院後のケア、CF)	4	8	14	12	9	9	9	5	10	6	2	5	93
その他医療相談	0	2	2	5	0	0	0	0	4	1	0	13	27
その他	6	5	6	2	2	5	11	3	15	5	14	5	79

年合計 496

地域連携室では、入院・転院のご相談はもちろん、介護施設入所・各種制度ご利用などのご相談にもお乗りしています。どうぞお気軽にお問い合わせください。



地域連携室直通番号

☎ 027-352-6100

メールでのお問い合わせ ▶ renkei@komai-hp.com

代表電話
よりも早い!



■基本理念

やさしさに出会う医療を
やすらぎに出会う医療を
そして
生きがいに出会う医療を

■基本方針

1. 私たちは、人間の尊厳を大切にし、患者様の立場に立った、信頼を得る医療を提供します。
2. 私たちは、高齢者医療専門機関として、誠実で安心な医療・看護・介護サービスを実践します。
3. 私たちは、社会人としての倫理観を持ち、医療の質向上のため研鑽を積み、地域や組織に貢献します。
4. 私たちは、地域の人々の支えとなる慢性期医療機関としての役割を実践し、地域包括ケアシステムの一翼を担います。